

## 日本農村家族の社会学的研究

著者	塚本 哲人
号	1
発行年	1965
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/14935">http://hdl.handle.net/10097/14935</a>

人 哲 本 塚

学位の種類 教育学博士

学位記番号 教 第 1 号

学位授与年月日 昭和40年11月24日

学位授与の要件 学位規則第5条第2項該当

学位論文題目 日本農村家族の社会学的研究

論文審査委員 (主査)

教授 竹内 利美      助教授 田原 音和  
助教授 佐々木 徹郎

## 論文内容の要旨

本論文は、現代日本における農村家族の実態を社会的・見地から体系的、組織的に解明しようとするものであり、序章—本研究の意図と基本的立場—、第一章 日本農村家族研究法、第二章 日本農村家族の構造、第三章 日本農村家族と村落結合、第五章 日本農村家族の変動、第六章 日本人移民の社会と家族、附章—日本およびアメリカにおける農村社会学の研究史的考察—の八章で構成されている。序章ならびに第一章においては、本研究の問題意識と方法論の理論的検討を行ない、実証的な社会学研究の立場と本研究において解明すべき日本農村家族にかかわる問題領域を明確化し、第二章では、家族類型論と家族構成その他集団論の問題を整理して新しい類型化を試み、第三章では、従来軽視されていた家族イデオロギーおよび家族意識を扱い、この3部を通じて現代における日本農村家族をいわば通論的に論じ、さらに、第四章、第五章、第六章は、同族団と家族、村落と家族、開拓農家の家族、海外移住した家族など、やや特殊の事項に即した実証的事例研究の集成であって、各論として前半部に対応させたものでもあり、そのような事例研究によって多角的に日本農村家族を理解しようとしたものでもある。

このようにして本研究は、従来集団論あるいは制度論としてのみ体系的理論化が試みられてきた日本家族の社会学研究の領域において、次の2点をめぐって、わが国の農村家族の実態調査の結果をふまえての新しい組織的な提示を行なったものと要約することができよう。

第1は、家族は最初から制度であるとともに理想なのであると考え、それを前提としたうえで、夫婦関係、生活の本拠としての住居と、そこにいとなまれる共同生活と、それが位置している集落社会という三要素を、まず個別的に、そして次に相互連関的に考察する「家族の構造的理解」の立場こそが、家族の究明にあたって重要な観点であるとの主張を論証し、その観点による分析結果を示したことである。

第二は、家族の変動を考えるにあたっては、変動そのものの法則性を積極的に発見すると同時に、家族生活のあり方の基礎には、それなりの社会育合的論理がいわば即自合理的秩序の形で貫徹している事実注目し、両者の相即において理解すべきであるという観点を実証的に論証したことである。

## 論文審査結果の要旨

本論文は現代日本における農村家族の実態を、社会学的見地から体系的・理論的に解明しようとするもので、序章－研究意図と基本的立場、(1) 日本農村家族研究法、(2) 日本農村家族の構造、(3) 日本農村家族における社会意識、(4) 日本農村家族と村落結合、(5) 日本農村家族の変動、(6) 日本人移民の社会と家族、附章－日本およびアメリカの農村社会学史の考察の8章で構成されている。序章と(1)は本論の問題意識と方法論の検討、(2)は家族類型論とそれにもなう家族構成の諸問題、(3)は家族意識論をそれぞれ扱い、この3部を通じて現代日本農村家族を通論的に論じ、さらに、(4)、(5)、(6)は同族団と家族、移民家族、開拓農家などやや特殊の事項に即したいくつかの精緻な事例的研究の集成であって、各論として前半部に対応している。

本論文は多年にわたる著者の実証研究の成果がその基礎をなしており、ここに集成された個別論考は、移民家族、家族意識、家族の内的構造、同族団と家族など、いずれも未開拓の分野を扱った注目すべき労作で、また調査研究方法においても新しい途を開いたものと認められる。前半の通論部分は、従来の日本家族研究の成果にアメリカ社会学の近代家族理論を参酌して、実践的にも有効な類型理論を展開したもので、とくに家族周期理論を導入して、独自の類型処理をこころみた点が注目をひく。ともかく、本論文は現代日本農村家族の理論的体系化に新しい所説を提示した点と、その基礎をなした事例的家族研究の成果に、いくたの独創性がみとめられる点で、学界に寄与するところが大きい。教育の社会学的研究において、家族研究の占める比重はきわめて大きい。この論考はその意味で教育社会学の研究にも寄与するところが多いものである。よって、本論文の成果は教育学博士の学位を授与されるに充分なものともとめる。